

鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業におけるその他の起因物を起因物とする死傷災害発生事例

(2017年)

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
6	14 ～ 15	自社資材置場にて、草刈作業中に虫に刺されたと思われる。自宅に帰ってから痒みが出て、就寝時には患部が熱く赤く腫れていた。	38	1～ 9
6	17 ～ 18	勾配天井作業にて、同じ姿勢で天井の下地組及び天井プラスターボード貼り付け工事作業を行った後、右首に痛みが発生、頸椎捻挫状態と診断された。	20	100 ～ 299
10	11 ～ 12	新築建物工事現場で基礎型枠の脱型作業中、柱脚型枠を脱型する為、掘削部をまたぐ際に体勢を崩し、基礎の差筋（異形鉄筋棒D10）にあごを刺した。当時、台風の過ぎた後で、足元の状態があまり良くなかった。	19	1～ 9
10	14 ～ 15	足場資材置場の片付け中パイプを持ちながらカゴを乗り越え移動しようとした際、カゴとカゴの隙間の溝に気づかず足を踏み外し、肘・膝・胸をカゴに強打した。作業を中止し損傷部を冷やし帰宅したが痛みが引かなかった。	25	10 ～ 29
12	9～10	受傷者は、9階外壁の超高压洗浄を行っていた。現場に設置された落下養生ネットが一部邪魔になったので、洗浄水を出したまま片手でネットをたぐったところ、洗浄水が右手中指第1関節より1.5cm程上に当たり、指を切った。	30	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html